

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「イオンのトップバリュセレクトからプレミアムペットフード新発売」
- 2) 「ローソン、年内に特保パン発売 国産小麦100%のプライベートブランド」
- 3) 「10年ハンバーグ食べ放題の住宅、建設会社とハンバーグ店がコラボ」

---

1) 「イオンのトップバリュセレクトからプレミアムペットフード新発売」

イオンは、同社のPBブランド「トップバリュセレクト」からプレミアムペットフード（犬用と猫用合計7種類）を、グループのペット専門店「イオンペット」やGMS「イオン」「ダイエー」など全国約600店舗で、10月16日より順次発売する。価格は各798円。同商品は、愛犬・愛猫の年齢に応じて必要とされる栄養組成を考え、犬用4種類（成犬用1-9歳／成犬用1-9歳＜体重管理をサポート＞、高齢犬用10歳以上、高齢犬用13歳以上）、猫用3種類（成猫用1-9歳、高齢猫用10歳以上、高齢猫用13歳以上）、合計7種類をラインアップ。

全品共通の特長として、「おなかの健康維持」に配慮して食物繊維、オリゴ糖と乳酸菌を配合。「すこやかな皮フと毛並みの健康維持」に配慮してDHA、EPAと月見草オイルを配合した。猫用の商品には「毛玉対応」として、飲み込んだ毛を少しずつ排出するように食物繊維を配合している。

また、国産生鶏肉を国内PBで初めて使用。主原料の九州産鶏肉は生の状態でペースト状にし、ドライフードに焼き上げることで生肉のうまみ成分を封じ込めている。さらに、大麦ブランやローズマリーなど15種類以上の原材料を組み合わせることで、おいしさと栄養バランスに配慮した商品に仕上げた。

PBの質・価格共に消費者に受け入れられ、最近では身の回りの多くにPB商品が存在する。ペットもちろん大切な家族の一員であるわけで、企業がそこに着目するのは必然的だろう。食品や日用雑貨、家電などすぐに思いつくもの以外に今後PBの波がどこまで広がっていくのか楽しみだ。

---

2) 「ローソン、年内に特保パン発売 国産小麦100%のプライベートブランド」

ローソンは18日、国産小麦を100%使用したPBの高価格食パンを11月8日に発売すると発表した。年内に特定保健用食品（特保）の食パンも発売する計画だ。高価格食パンの商品名は「ウチカフェレッド」。タンパク質やでんぷんを多く含む国産小麦「春よ恋」を100%使用し、もちもちとした食感に仕上げた。価格は2枚入りで140円と通常のPB食パン（6枚入り138円）に比べて割高だが、単身者や働く主婦を対象に月に300万食の販売を目指す。

高価格のPB食パンはセブン&アイホールディングスも今月、セブン-イレブンなどで販売している「セブンゴールド 金の食パン」をリニューアルした。

コンビニエンスストアのパンは総菜パンなど手軽に食べられる品が主流。しかし、他の食材と一緒に食べることの多い食パンを強化すれば、カット野菜など関連商品の需要拡大につながるとの狙いがある。

ローソンは今後、ウチカフェブレッドに合うバターなどを順次発売する。また、血糖値の上昇を緩和する効果が期待される特保食パンのノウハウを活用し、年内にもPB食パンを発売する予定だ。

個人的には高級路線PBとして、先行しているセブンとの味比べをしてみたい。関連商品との展開ということで、ローソンは今までもLチキとパンズの組み合わせなどをやっていたので、どのような販促を行うかも楽しみだ。トクホの食パンも発売との事なので、健康・味と生活にあった商品を選ぶことができるので足を運びきっかけになりそうだと思う。

---

### 3) 「10年ハンバーグ食べ放題の住宅、建設会社とハンバーグ店がコラボ」

家族そろって10年間ハンバーグ食べ放題の注文住宅——。思わず「え？住宅？」と聞き返してしまいそうな、意外な特典が付いた注文住宅「一家団欒ハンバーグハウス」の販売が、10月17日より始まる。

これは、自然素材を使った“健康住宅”を提案する伊豆山建設が発売するもの。同社が手がける“健康住宅”を注文した顧客に対して、10年間ハンバーグを無料で食べられる「家族そろって10年間ハンバーグ食べ放題！定期券」を提供するキャンペーンだ。

それにしても、いったいなぜ注文住宅に“ハンバーグ食べ放題”が付くのだろうか。この点について同社は「近年、家族構成が大きく変化し、核家族化や両親の共働きが一般化することで、一家団欒で食事をする光景が減り、孤食、孤室化が問題となっています」という現状を踏まえ、家族揃って食事をする機会を増やして貰えるようにとの願いを込めて提供すると説明している。

「家族そろって10年間ハンバーグ食べ放題！定期券」が利用できるのは、同社の「イズヤマリゾート ショールーム」に隣接するハンバーグ&カフェ「Patty（パティ）」（千葉県千葉市緑区おゆみ野南）。一人でも欠けた場合は「家族団欒ではない」と見なし利用できず、あくまでも家族全員が揃って来店したときのみ利用可能だ。

他にない、意外性のある提案で思わず目をひく。実際にはハンバーグばかり10年は飽きるのではないか、その店は今後10年営業が続くのかなど気になる部分もあるが、それはさておききっかけづくりとして面白い例だと思う。増税前の駆け込み需要は特別な例として家はそう気軽に建てられるものではないが、そうした商品に何か価値を付けようという試みは他にも活かせると思う。